



▲木村さんの指導でベビーマッサージを実演する保健活動推進員

親と子の気持ちをつなぐ効果

南方でベビーマッサージ研修会

保健活動推進員研修会が5月16日、南方住民情報センターで開催され、推進員19人が参加しました。ロイヤルベビーマッサージセラピストの木村絵理さん(利府町)を講師に迎え、「ベビーマッサージの方法と効果」について研修。人形を使ったマッサージ実技なども行われ、参加者は「赤ちゃんとの気持ちをつなぐためにとても効果がありそう」と話していました。推進員が赤ちゃん訪問をする際には、今回研修した感想などを伝えながら、今後開催するベビーマッサージ教室への参加を勧めています。

見事な演技に拍手と声援

津山でコミュニティ春祭り奉納演芸大会

横山不動尊春祭り「コミュニティ春祭り奉納演芸大会」が4月27、28日の両日、横山不動尊内の特設ステージで開催されました。この特設ステージは、昨年度横山地区コミュニティ推進協議会が自治宝くじコミュニティ助成事業で整備したもので、各種イベントなどで活用できる組み立て式舞台となっています。今回は地域住民へのお披露目となり、会場には多くの観客が訪れました。小さな子どもたちや各種団体の見事な演技が披露され、たくさんの拍手と声援が送られたにぎやかな祭りとなりました。



▲お披露目となった舞台上で華麗な太鼓演奏などが催されました

かわいい踊りや歌で交流

中田の老人ホームでお花見交流会

中田町浅水の特別養護老人ホーム萩風園で、さくら幼稚園園児とお花見交流会が4月27日に行われました。交流会では、26人の園児による踊りや歌が披露され、入所者は音楽に合わせて手拍子をしたり、歌を口ずさんだりしながら、かわいい「孫たち」と楽しいひとときを過ごしました。最後は、入所者と園児が手をつないで、童謡「くつがなる」を大合唱。園児からの「元気で長生きしてくださいね」の言葉に、笑顔を見せながら「かわいいね。上手だったね」と園児たちの手を握り締めるお年寄りもいました。



▲楽しい時間を過ごすさくら幼稚園の園児と老人ホーム入所者

カブトムシの幼虫見つけた！

豊里でカブトムシの幼虫掘り体験

カブトムシの幼虫掘り体験が4月24日、豊里町竹花地区の佐藤正彦さん宅で行われ、豊里小3年生57人が参加しました。幼虫から成虫に変化する様子を観察することで、生き物の生命の尊さなどを学んでもらおうと開催。佐藤さんがカブトムシの成長の様子をイラストで説明した後、幼虫掘りを体験しました。子どもたちは、傷をつけないように慎重に幼虫を掘り、見つけるたびに大きな歓声をあげていました。掘り出した幼虫は、成長が分かる半透明なケースに入れ、教室で世話をしながら夏の羽化を待ちます。



▲大事に掘り探したカブトムシの幼虫を手にする豊里小児童



▲講習会で協力者から正しい自転車の乗り方を学ぶ参加者

正しく楽しく自転車走行

登米で自転車安全講習会

登米地区小学生自転車安全講習会(登米警察署・登米地区交通安全協会共催)が5月12日、旧登米警察署跡地で開催されました。この講習会は、春の交通安全運動期間に登米警察署管内4地区(登米、豊里、東和、津山)の小学生を対象に開催。関係者と合わせて約100人が参加しました。参加した小学生は、さまざまに設定されたコースを、緊張しながらも関係者の熱心な指導を受けながら走行。「友達と遊ぶときはいつも自転車を使うので、これからはもっと気を付けたい」と交通安全を誓っていました。

学級が一丸となって結束

米山中で学級対抗駅伝大会

学級の士気を高め、粘り強い生徒の育成と持久力の向上を目的に、学年学級対抗による駅伝大会が5月11日、米山中で開催されました。駅伝コースは、校庭と周辺の道路を使った一区間で、男子が約1,600m、女子は約1,000m。学級が一丸となって、一本のタスキを走りつなぎました。沿道には多くの父兄と住民が応援に訪れ、「頑張れ」などと大きな声援が飛び交いました。生徒の中には、「もう駄目だ」と言いながらも、額の汗を拭いて歯を食いしばり、クラスメートの待つ中継点を目指して力走しました。



▲隣の学級には負けまいと力走する姿が随所に見られた駅伝大会